

にじいろはーと

特定非営利活動法人 おいた子ども支援ネット ニュースレター

ごあいさつ

特定非営利活動法人
おいた子ども支援ネット



理事長（弁護士） 西畑 修司

児童虐待の現状に明るさは見えません。平成25年の統計ですが、全国の児童相談所が児童虐待に対応した件数は7万3765件に昇り、年々増加の一途をたどっています。これは平成11年の実に6倍を超える件数です。

また、約4割の自治体で定員を超えた一時保護が実施されている状態であり、虐待を受けた児童を養護する社会体制は十分だとは言えません。

虐待者は実母が約38%、実父が約49%で、実父母による虐待は86%を占めています。このような児童虐待の最も深刻な点は、子どもに逃げ場所がないということです。例えば、学校で体罰やいじめを受けた子どもは、最終的には家庭に逃げ場所を求めることができます。しかし、家庭が子どもを侵害する場となっている児童虐待の場合、子どもは適切な逃げ場所を見つけ出せず、そのことが家庭内での死亡事件等の深刻な事態を引き起こしたり、あてもなく家を出て非行に及んだり児童自身が様々な被害を受けたりします。

このようなことを社会が放置してはなりません。そのため、各地に児童相談所が設置され、様々な児童の養護活動

が実施されてきました。しかし、児童虐待件数の増加になかなか追いつかないのが現状であります。

そのような中、2004年東京に「居場所のない、危機的状況にある子どもたちの緊急避難場所（子どもシェルター）」が日本に初めて開設されました。それから10年、全国にその波は広がりを見せています。そしていよいよ、この大分でも「社会にとってかけがえのないすべての子どもたちに明るい未来を！」を合言葉に、福祉、教育、医療、行政、そして司法が互いに連携し、子どもたちの幸せを願う活動が始まります。私たちは、家庭に居場所を求められない子どもたちに衣食住の環境を提供し、適切な成長を支えていきます。また、虐待等の危機から子どもたちを保護し、生きる権利を保障し、やがて自立した生活ができるよう、子どもたちに寄り添った支援を提供します。

当法人に対する皆様方のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

最後になりますが、これまでご支援・ご協力をいただきました、大分県子ども子育て支援課ならびに行政関係の皆様、大分県児童養護施設協議会の皆様、大分県弁護士会の皆様、改修工事等でお世話になりました各事業所の皆様、本活動をご理解して下さり過分なご支援をいただきましたSBI子ども希望財団、コストコホールセール・ジャパン、九州労働金庫等の法人および企業の皆様、そして温かい励ましをいただいた地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

【理事役員一覧】

- ・理事長 西畑 修司 (弁護士：西畑法律事務所)
- ・副理事長 出納 皓雄 (大分県児童養護施設協議会会長：社会福祉法人清浄園理事長)
- ・理事 小野 重遠 (児童精神科医)
- 衣笠 一茂 (大分大学教育福祉科学部教授：大学院福祉科学研究科教授)
- 生野 誉士 (弁護士：弁護士法人いつき法律事務所)
- 楠本 敏行 (弁護士：城崎法律事務所)
- 岡田 壮平 (弁護士：弁護士法人平山法律事務所)
- 大呂 紗智子 (弁護士：弁護士法人アゴラ)
- 矢野 茂生 (おいた子ども支援ネット事務局長：センターハウス所長)
- ・監事 田中 一旭 (NPO法人みんなの広場とんとん理事兼事務局長)

・大分県発達障がい者支援専門員の会事務局)



大分県福祉保健部こども子育て支援課
課長 山口 正行 様

核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、子育てが難しくなっていると言われていています。大分県もその例外ではなく、特別な支援を必要とする子どもや家庭が増えています。ですから、「大分県でも、弁護士が中心となって子どもへの支援に取り組みたい」というお話を西畑理事長から聞いたとき、大変心強く感じるとともに、これはぜひ実現してほしいと思いました。

幸いなことに、大分県には、子どもに対する熱い思いを持った福祉関係者がたくさんいます。司法と福祉がそれぞれの専門性を活かして連携することで、難しい課題を抱える子どもへ寄り添った支援が可能になると思います。

来月には、いよいよセンターハウスの運営が開始すると伺っています。おおいた子ども支援ネットの皆さまのこれまでのご努力に敬意を表するとともに、これからの活躍を大いに期待しています。

RIKI PROJECT 代表・俳優
竹内 力 様

戦後、高度経済成長からバブル、そしてバブル崩壊から平成の今に至るまで、前の世代がこの日本社会を形作ってきました。良い部分も悪い部分も次の世代が受け継いで、背負っていかねばなりません。

そんな今、素直に感じることは、現代日本社会で生きていくことはとても大変なことだということです。大人である私たちがそう感じるのだから、子どもたちにとって生きにくい世の中なのは明白です。

子どもたちはひとりでは生きていけません。真っ直ぐ歩けない子もいます。過ちを犯す子もいます。それは社会全体の問題です。

人間が人間にこれだけ関心を失った今だからこそ、「おおいた子ども支援ネット」の取り組みの意義を痛感します。ほんの少しだけ、今の子どもたちに手を差し伸べてやってください。

激励の メッセージ

皆様方のご期待を胸に…

当法人の設立につきましては、多くの皆様方の、ご理解やご支援・ご協力をいただいています。また、設立に向けた活動の中で、当法人への期待を感じております。

そこで、事業開始にあたり、お祝いと激励のメッセージを寄せていただきましたので、ご紹介させていただきます。

皆さまのご支援とご協力に感謝いたしますとともに、あらためて身の引き締まる思いです。

九州労働金庫 大分県本部
業務推進課 課長 田崎 辰夫 様

特定非営利活動法人 おおいた子ども支援ネットの設立を心からお喜び申し上げます。

九州ろうきんは2011年度より、七夕とクリスマスの年2回、九州にある80の児童養護施設へ本を届ける活動をしています。大分県内では毎年行われる児童養護施設のサッカー大会にろうきん職員が参加し、子どもたちと一緒に汗を流しています。また、グラウンドの外ではみんな小さな子どもたちと一緒に楽しく遊んでいます。

そのような経緯も含め、今回、「特定非営利活動法人 おおいた子ども支援ネット」が産声を上げ活動を開始することは、私たちにとっても大きな励みとなります。九州ろうきんがこれまで実施してきた社会貢献活動の中ではなかった新しい息吹の芽生えとして、私たちは感じるのではないでしょうか。

現在、九州ろうきんができることは子どもたちと向い合い話しを聞き、子どもたちが社会へ旅立つ準備（大人への第一歩）へのお手伝いをすることです。

これから先、九州ろうきんはさらに児童養護施設との絆を深め、特定非営利活動法人 おおいた子ども支援ネットと共に歩んで

いくことをお誓い申し上げお祝いの言葉といたします。



つかえるろうきん みんなのろうきん
九州ろうきん

素敵なロゴができました。

このロゴは運営委員の松田弁護士が、福井県在住のご友人・林真穂さんに依頼して完成したものです。



制作者 林真穂 様 より

今回のロゴ制作のお話をいただくまで、私はこどもシェルターの存在を知らず、松田さんにおしえていただいた事や一般の文献、ネット上の情報収集等からロゴ制作は始まりました。

子どもたちを巡る問題は様々にあり、その中で翻弄され命すら危うい子どもたちがたくさん居ることを知りました。そしてそんな子どもたちの為に、仕事の枠を超えて尽力する大人たちが居ることも知りました。

そんな、仕事の範疇を超えた情熱に報いる、良いロゴを作りたいと強く思いました。

何度もやり取りを繰り返し、紆余曲折もありました。その度、関係者の方々それぞれが、ひとかたならぬ想いを抱いて取り組んでいらっしゃることをひしひしと感じました。

メインのマークである虹の7色が描くハートは、虹、ハート、織り重なるように合流するライン、全てに意味があり、おいたの「お」にも特別なストーリーが込められています。

全てを語るには文字数が足りません。たくさんの想いの詰まったロゴが出来上がりました。

NPO 法人おいた子ども支援ネットの顔として、関係の方々にはもちろん、地域の皆様にも親しまれ、愛されてゆきますようお祈り致しますとともに、一人でも多くの不遇な少年少女たちがおいた子ども支援ネットと良き出会いを果たしますように遠く福井の地より願っております。

林制作所 林真穂

【 解説 ! 】

～ロゴに込められた想い～

当法人のロゴ作成担当者として、ロゴの説明をさせていただきます。

おいた子ども支援ネットの「お」には・・・、嵐の中から逃げてきた子どもが、当法人の傘（三角の部分）の中で、笑顔を取り戻し、自分の進む道を自分で選び、虹が出ている雨上がりの空に晴れ晴れとした気持ちで旅立って行ってほしいという願いが込められています。



にじいろハートには、

様々な悩み・トラブルを抱える子どもたちを、多機関・多専門職が虹の束になって連携し、愛で子どもたちを支えたい、というスタッフ一同の強く熱い思いが込められています。

このロゴのように、1人でも多くの子どもたちが心から笑って暮らせる日がくることを願っております。

弁護士 松田めぐみ

にじいろ ネットワーク

全国各地で子どもたちのために活動している私たちの仲間を紹介します。



坂本 志麻 さん

(獣医師・里親)



鹿児島県奄美大島に家族で移住。

農場内で宿泊できるファミリー

ホーム「奄美 こどもの家 はっぴいホーム」を運営

《活動のご紹介》

奄美大島の アニマルセラピー農場 より



《坂本さんからのメッセージ》

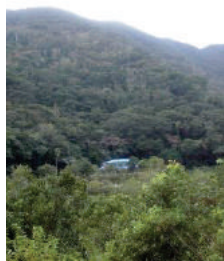
特定非営利活動法人「おおいた子ども支援ネット」設立ならびにセンターハウスの開所おめでとうございます。



家庭や社会に安心できる居場所がない子どもたち、深刻な家庭状況にある子どもたちのための緊急避難場所。開設していただき、とても嬉しく思います。

ここにいたるまでには、資金面、人材面、住居、煩雑な多くの事務など、多くの困難、課題があったことと思います。おおいた子ども支援ネットに係る関係者、応援者皆様方の熱い志が、きつとつらい境遇にあり、苦しみの真っ只中にいる子供達の希望につながると思います。

胸がつぶされるような、悲しい事件があります。絶望



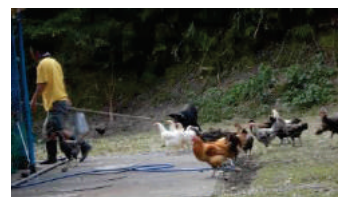
の中で、救いを求めている子ども達があります。存在しています。この経済大国で、豊かなはずの日本で愛を求めている子ども達がいるのです。おおいた子ども支援ネットの活動を心より応援申し上げます!!

自然の恵みと動物の癒しの力を活用した、こどもの心が元気になるための活動をしています。事情があって家庭で過ごすことが難しい、安心して生活できる居場所が必要な、子どもと家族のための家です。ユニークな個性を持った子ども達が、のびのびできるような空間を心がけています。虐待により、心に傷を負った子ども、ダウン症、発達障害、自閉症、不登校、ひきこもりの青年など遊びに来てくれたり、一緒に過ごしたりしています。

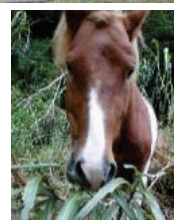


地域の子どもたちも自由に入出入りし、豚と追いかっこをしたり、鶏をだっこしたり、自由な発想で遊びを作り出しています。ジャージー牛が1頭だけいます。オーガニックミルクを朝・夕手絞りして、

ヨーグルト、チーズやバター、キャラメルをつくっています。自家用です。子どもたちと一緒に、自然の恵みに感謝していただいています。お肉が食べたいとき

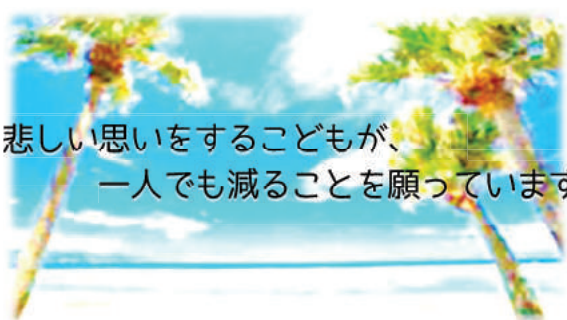


は、鶏の命をいただきます。自分たちの命は、生かされているもの。どうか大切にして欲しい。との思いで食育をしています。



居場所や家族が必要な子どもさん、心のケアと子どもの笑顔を目的とした滞在先・訪問先を求めている方がいましたら、ご連絡ください。利用料・滞在費は無料です。(詳細は：[アニマルセラピー 奄美] で検索) 優秀なスタッフ(動物たち)が、喜んでお迎えます。

悲しい思いをすることも、
一人でも減ることを願っています。



多くの善意。心からありがとうございます!

法人一同深謝申し上げます

会員様ならびにご寄附いただいた皆様方

※敬称略・五十音順 (当法人関係者は除く) *2/28 現在

【企業および法人の皆様】

Costco Wholesale Japan 様
RIKI CORPORATION 様
SBI 子ども希望財団 様
Wash 歯科医院 様
株式会社 愛清 様
株式会社 伊藤鉄筋工業 様
株式会社 池田生花店 様
株式会社 カートピアキクチ 様
株式会社 くらや 様
学校法人 扇城学園 様
学校法人 明佳学園 双葉ヶ丘幼稚園 様
株式会社 NS 情報システムズ 様
株式会社 中津急行 様
株式会社 中津鋼管工業 様
株式会社 中津レンタリース 様
株式会社 プランニング雅 様
株式会社 山国商会 様
児童養護施設 小百合ホーム 様
児童養護施設 聖ヨゼフ寮 様
児童養護施設 鷹巣学園 様
児童養護施設 光の園 様
司法書士 矢頭和敏事務所 様
なかつ情報通信開発センター株式会社 様
はらおか歯科医院 様
半田電設工業株式会社 様
古田土地家屋調査士事務所 様
有限会社 エスアールシステム 様
有限会社 河野左官工業 様
有限会社 丸善商店 様
有限会社 ヒロハタモーターズ 様
有限会社 松下モーターズ 様
有限会社 ミズアンドダテ 様
老人保健施設 創生園 様
和知産業株式会社 様

【個人の皆様】

相原 孝行 様 竹内 健児 様
赤松 英子 様 田崎 辰夫 様
赤松万千子 様 旦部 博規 様
秋月 道也 様 友松 丈子 様
泉 節子 様 鳥越 和善 様
伊勢 強志 様 長野 淳雄 様
井上としみ 様 西畑 陽子 様
祝出 昭夫 様 橋本 佳喜 様
上野千恵子 様 長谷川多美子様
宇都宮信子 様 浜田 徹 様
衛藤 照美 様 疋田 利恵 様
大久保祐子 様 疋田 泰文 様
大堀 善造 様 平岩 純子 様
小野田光子 様 帆足ちはる 様
小野 達雄 様 本田 公一 様
小野 直美 様 松尾 信吾 様
小幡 純一 様 松下 茂生 様
辛島 篤志 様 松下美奈子 様
河野 博明 様 松永 忠 様
河野 靖男 様 ミヤザキトシヒロ様
神田まり子 様 村上紀美子 様
木村 朋昭 様 森山 義治 様
熊野真二郎 様 安廣 光男 様
河野 博明 様 山口 秀明 様
コヤヤスヒロ様 山本 浩二 様
酒井 政利 様 山本さやか 様
嶋田 義明 様 山本 聖也 様
首藤 研一 様 山本 大貴 様
首藤 丈彦 様 山本トシ子 様
末廣 法崇 様 山本奈緒子 様
杉埜 康喜 様 山本 美保 様
隅田 妙子 様 ユグチカズオ様
高倉 由佳 様 吉原 正孝 様
高橋恵美子 様 吉原 保子 様
高村 香織 様 吉森 晶子 様

正会員および賛助会員の 種別について

【正会員とは…】

年に1回の通常総会(毎年3月頃)にご出席のご案内をさせていただきます。

通常総会とは毎年の活動や会計等について、ご報告およびご説明をさせていただくものです(株式会社でいうところの「株主総会」のようなものです)。

当法人の運営状況等を知りたい!という皆様は正会員にご登録ください。

【賛助会員とは…】

通常総会等には出席しなくとも、当法人の事業趣旨に賛同いただき、「子どもたちの明るい未来づくりのサポーター」として協力したい!という皆様は賛助会員にご登録ください。

【ご寄附について】

子どもたちの生活や自立には多くの資金や物資が必要になります。金額は問いません。また、ご家庭で使っていない日用品やテーブル、椅子などなど。なんでも!事務局にご連絡いただければ、受け取りに向くことも可能です。

*事務局 TEL

(097)507-5417 *矢野まで

おおいた子ども支援ネットは 認定 NPO 法人の取得に向けて努力いたします

【認定 NPO 法人とは…】

NPO 法人のうち一定の要件を満たすことで、所轄庁（都道府県等）より、認定された法人のことをいいます。税制等の優遇措置があり、ご寄附等をいただい場合、寄附をした方々（法人も含む）にも所得控除や税額控除等の優遇措置があります。大分県でも認定 NPO 法人になるための様々な基準が設けられています。

「運営基盤の安定」「子どもたちにより豊かな支援の提供」をめざし
今後も努力していきます。

ご支援、ご協力のほど今後ともよろしくお願ひいたします。



ご支援のお願い ～ 子どもたちの生活や活動を支えてください ～

◀ 善意の窓口 ▶

当法人では、以下の口座に「善意の窓口」を設けております。会員種別やご寄附を明確にするために、お手数ですが、振込用紙記入時に、正会員希望はお名前の前に数字の【1】を、賛助会員は【2】を、ご寄附の場合は【3】をご記入ください。年数回のニュースレターをお届けいたします。よろしくお願ひいたします

例：子ども太郎さんが〇〇円の寄付を行う場合 → 3 子ども太郎
子ども次郎さんが賛助会員を希望する場合 → 2 子ども次郎
子ども花子さんが正会員と寄付を行う場合 → 1 3 子ども花子

【九州ろうきん】 九州労働金庫 大分支店 普通 6464778

口座名義 NPO法人おおいた子ども支援ネット事務局長 矢野茂生（ヤノシゲキ）

【ゆうちょ銀行】 記号 17200 番号 1379741

口座名義 特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット

～ 編集後記 ～

昨年 11 月の法人設立より…いや、「居場所のない、行き場のない子どもたちのために立ち上がろう！」と法人設立を目指した時から～。あっという間にとというか「ついに」というか、おおいた子ども支援ネットの事業が開始いたします。法人施設物件を探し回った毎日…、法人役員も運営スタッフも、改修費用節減のためにジャージに軍手で作業だらけだった毎日…、「いや。だいじょうぶかえ」と自問自答の毎日。しかし、そんな中、地域の方々との説明会で、全国シェルターネットワーク会議で、設立記念講演会で…など、多くの皆様に勇気と元気をいただき、ようやく事業開始に至ることができました。「人と人とのつながりの力」がこんなにもありがたいものかと、今更ながら痛感いたします。ちょうど今、その「つながり」を持てなかった少年たちの深刻な事件が報道されています。日本社会の抱える課題は子どもたちに大きく影響することをこの事件からも感じています。私たち大人にできることはきっと、もっとあるはず！「すべての子どもたちに明るい未来を！」。その言葉が飾りにならぬよう。

おおいた子ども支援ネット、「スタート！」です。

特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット一同